

本誌の連載や特集記事のテーマをもとに、F-SOAIPにて表現できることをご紹介します。

## 解決したい課題こそF-SOAIPでソーシャルアクションを ～本誌連載や特集テーマを応援～

埼玉県立大学 鳶末憲子  
国際医療福祉大学大学院 小嶋章吾

### はじめに～企画の概要～

ケアマネジャーをはじめ、医療や福祉・介護で働く皆さまを取り巻く環境は厳しくなるばかりです。筆者らは、このような環境下でこそ、あらゆる課題の共有や解決に役立つF-SOAIPを皆さまが活用できるよう、支援経過記録の標準化の要望を受けてソーシャルアクション（図1）に取り組んできました。

本連載の執筆者らによる座談会や自治体でのF-SOAIPの実践報告により、F-SOAIPの期待はさらに高

まったことでしょう。今回は、本誌の連載や特集テーマにご関心のある読者の皆さまが、F-SOAIPを活用できるよう企画しました。

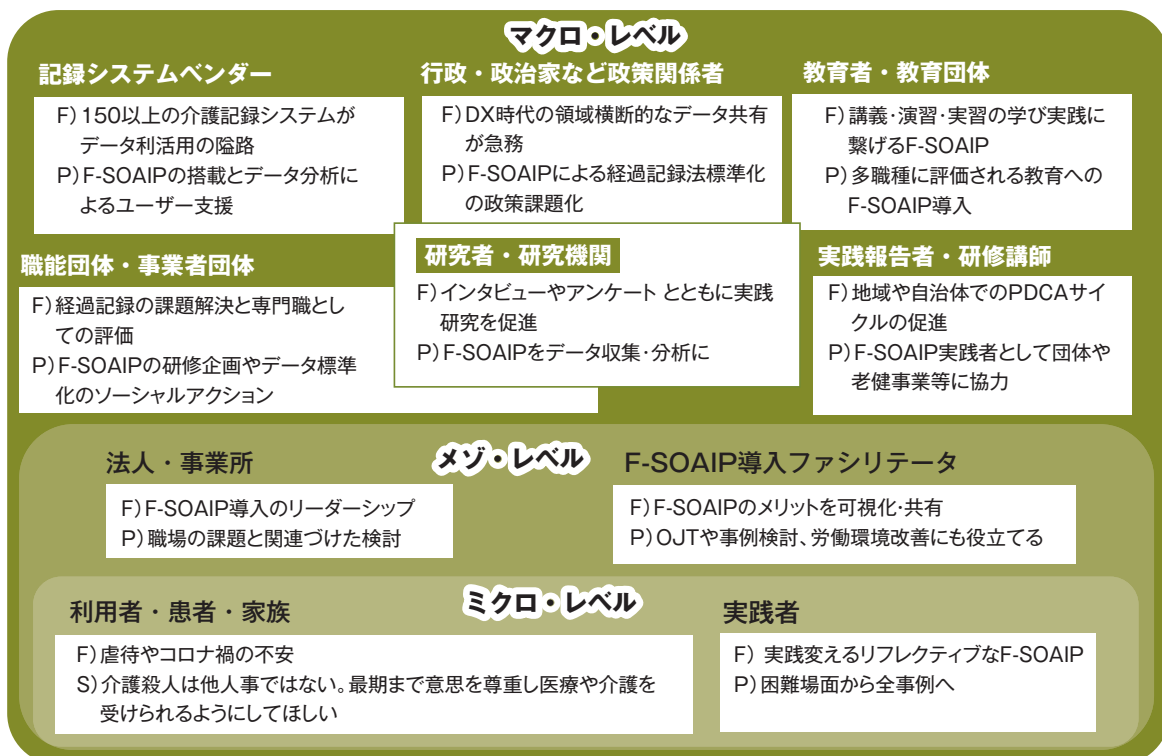
『月刊ケアマネジメント』誌の特集テーマのいくつかをとりあげ、記事に紹介されたデータをもとにF-SOAIPで表現できることを紹介します。もちろん、記事が全て支援場面ではなく、紹介されているデータのすべてを記載することはできませんが、どのような場合であっても、F-SOAIPで表現できることがお分かりいただけることで

しょう。

また、本企画は、ソーシャルアクションの一環として、老健事業等のテーマのいずれでも、F-SOAIPが貢献できることを示し、導入者へのインタビューや委員としての参画等を提言してきましたので、その根拠としても意義があるものです。

とりあげる連載・特集テーマは、意思決定支援（2022年5月号）、在宅介護を快適にする極意（連載：2022年8月号）、カスタマーハラスメント（2022年8月号）、ヤングケアラー（2021

図1 ミクロ～マクロレベルのF-SOAIPによるデータ活用～ソーシャルアクション版～



出所：『月刊ケアマネジメント』 46頁、2021年9月／鳶末憲子・小嶋章吾『医療・福祉の質が高まる生活支援記録法 [F-SOAIP]』中央法規、2020年、193-194頁を改訂・図式化